

じょうばんたんこう いわきこうぎょうしょ  
**常磐炭礦(株)磐城礦業所閉山50年の節目事業**

\*\*\*\*\*

昭和46（1971）年の常磐炭礦(株)磐城礦業所閉山（いわゆる大閉山）から50年の節目にあたって、常磐炭田を支えた常磐炭礦(株)や古河好間炭鉱(株)など各炭鉱会社の閉山により、離職を余儀なくされた大勢の人々のその後の生活、又会社や役所等関係機関がとった諸対策を検証し、それが産炭地いわきの今にどう結びついているのか・・・を考える。

\*\*\*\*\*

**I ほるる企画展「常磐炭礦(株)磐城礦業所閉山50年」(終了)**

1. 開催時期 2021（令和3）年10月23日（土）～12月5日（日）
2. 開催場所 いわき市石炭・化石館
3. 主催者 いわき市石炭・化石館（講演会は常磐炭田史研究会との共催）
4. 開催の内容 以下の通り、企画展示と講演会及び現地巡検

(1) 企画展示（講堂）

常磐炭田各炭鉱会社の栄枯盛衰を示す写真、新聞記事、出版物や閉山に至る年表等の資料を展示して当時の状況を再現する。

※昭和46（1971）年の大閉山に関する写真や新聞記事のパネル展示、出版物、色紙、手ぬぐい等の現物展示。

※大閉山の5年後の昭和51（1976）年、常磐炭礦(株)西部礦業所が閉山、石炭地下採掘の終焉となった。この時期取材に来ていたのが立教大学写真部である。その40年後の平成30（2018）年10月に写真集「いわき1974-76」を出版、12月には「ほるる」にお届けいただいた。この機会に写真集出版委員会と共同で、当時20代の学生が写しとった産炭地「いわきに生きる人々」の写真展示。

(2) 講演会3回（いわき市石炭・化石館） 時間は13時30分～15時00分

募集人員20名

①「第四次石炭政策と常磐炭礦(株)閉山」

日時 2021（令和3）年11月 6日（土）

講師 早稲田大学文学学術院教授 嶋崎尚子氏

②「産業遺産ガイドから見た常磐炭礦の閉山と北炭夕張の閉山」

日時 2021（令和3）年11月13日（土）

講師 いわきヘリテージ・ツーリズム協議会ガイド 熊澤幹夫

③「常磐炭礦（ヤマ）が地域に残したもの」

日時 2021（令和3）年12月 4日（土）

講師 NPO法人常磐炭田史研究会 野木和夫

(3) 大閉山ゆかりの場所を訪ねる半日巡検(募集人員15名。新旧対比のA3マップ作製)

日時 2021(令和3)年11月7日(日)

コース(案) ほるる(9時集合、1時間位説明後)～磐城礦業所跡地(閉山闘争要求書の提出現場、西部選炭工場跡、社宅跡、企業連事務所、常磐開発周辺)～湯本山神社～入山プール跡地～自治会館跡～常磐炭礦病院(現いわき湯本病院)～常磐湯本温泉(株)～旧八仙住宅遠望～ほるる(13時 解散)

## Ⅱ 「常磐炭礦(株)磐城礦業所閉山50年勉強会」

場所 いわき市石炭・化石館「ほるる」コミュニティ・ホール

時間 13時00分(受付12時30分から)～15時00分

司会進行 野木和夫

### ① 10月9日(土)「閉山と湯本二小の子供たち」講師 会員 吉田静江(終了)

講師は大閉山の年、湯本二小の教師を勤め、閉山で故郷を離れる親と一緒に新天地に行く多くの子供たちの転校を見守ってきました。炭鉱のど真ん中にある湯本二小は閉山の時どんな様子だったのか、吉田先生とお招きしたゲスト(鞍田 東氏)に思い出話をさせていただきます。

### ② 10月16日(土)「エネルギー革命と常磐炭田の疲弊」講師 会員 小宅幸一

講師はいわき市役所OB。豊富な知識や写真を駆使してテーマに迫る手法は他の追随を許しません。この大閉山問題にいわき市など関係機関はどう対策をとったのか、それがどう復興に結びついたか、この大きいテーマで持ち時間の2時間で終われるのか、その点だけが心配です。(終了)

### ③ 10月23日(土)「OBが語る常磐炭田の閉山事情」講師 会員 野木和夫

講師は常磐炭礦(株)に入社時、実習で2か月坑内作業も経験。常磐炭礦(株)OBとの交流も多く、閉山経験者から直接話を聞いたり、資料を調査したりして今回のテーマとしました。常磐炭田全般の閉山事情にも触れるいわば「閉山とは・・・の入門編」です。(終了)

### ④ 11月20日(土)「今だから話せる閉山闘争」講師 OB 安斎哲男

安斎哲男氏は常磐炭礦労働組合の役員として労働者の権利と生活を守る活動を続けてまいりました。そして50年前のあの閉山反対闘争を実際戦った、今では数少ない証言者の一人です。組合から見た閉山とはどんなものだったのか・・・話させていただきます。(終了)

### ⑤ 1月22日(土)「脱炭素社会と石炭産業のこれから」講師 会員 渡邊英樹

明治以降の日本近代化や戦後復興に尽くした石炭ですが、最近は何かと風当たりが強くなっております。講師は常磐興産(株)で長年石炭営業を担当、現在は常磐港運(ときわこううん)(株)の社長として活躍中。石炭産業の今とこれからの分かりやすく解説させていただきます。

## ⑥ 追加⇒2月(日にち未定)「(仮)閉山がマチに及ぼした影響について」

炭鉱閉山は従業員や家族は勿論、地域にもおおきな影響を及ぼしました。実際それはどんなものだったか、体験者や事情を知る地域住民に話していただきます。

講師は現在、調整中です。

## ⑦ 3月19日(土)「旧青葉の住人よりの書簡」 講師 会員 菅波 晋

常磐青葉地区は常磐炭礦(株)の炭住があり、「旧青葉の住人」と称する匿名の方から講師宛てに30通を越す書簡が届き、内容を見ると戦前戦後の炭鉱の話や珍しい写真もあり、炭鉱と湯本町の関連を含め、勉強になるので今回とり上げました。

## ⑧ 常磐炭田のエネルギー変遷を体感する巡検(バス利用)

勉強会が終わる来年の3月下旬頃、勉強会参加者と研究会会員全体に呼びかけての実施を検討したいと思います。コースは全くの素案ですが、

くほるる～常磐共同火力(株)勿来発電所・IGCC、～マリブリッジ・小名浜港石炭埠頭～東電原発廃炉地区(太陽光、水素)～大震災・原発災害伝承館～J・ビレッジ～ほるる>。  
希望者が多ければ大型観光バス(費用は参加者負担、弁当持参)で移動します。

いずれにせよ勉強会時やアンケートで皆様の意向もお聞きしながら、理事・事務局とも相談して問題が無ければ現地調査・確認の上、正式に募集したいと思います。

## Ⅲ 「いわき市暮らしの伝承郷講座」(終了)

講師 いわき市暮らしの伝承郷館長 夏井芳徳氏(いわき地域学会副代表理事)

11月14日(日) 13時30分～ 「片寄平蔵の石炭採掘」

11月21日(日) 13時30分～ 「片寄平蔵 江戸からいわきへの旅」

## Ⅳ 「いわき市生涯学習プラザ主催講座」(終了)

「石炭といわきー常磐炭田採炭終了から50年ー」(環境・まちづくり講座)

場所 いわき市生涯学習プラザ4階中会議室(1)(2)

11月13日(土)「いわきの石炭・展開」講師 野木和夫 NPO法人常磐炭田史研究会会長

11月27日(土)「いわきの石炭・炭鉱の暮らし」講師 野木和夫 同上

12月4日(土)「いわきの石炭・閉山とその後」講師 小宅幸一 いわき地域学会幹事

12月5日(土)「いわきの石炭・始まり」講師 夏井芳徳 医療創生大学客員教授

## V 「早稲田大学嶋崎ゼミ常磐炭田フィールドワーク」

<これについては研究会会員が対応しております。>

10月25日（月）常磐炭田巡検1（茨城県南部日立市から中心いわき市まで巡検）

11月15日（月）いわき市石炭・化石館で炭鉱OBを招いて常磐炭田学習

以上、2回は終了

〇〇月××日（月）常磐炭田巡検2（常磐炭田新エネルギーと常磐炭田北部の地巡検）

\*\*\*\*\*

## VI 「内郷学講座 内郷学特別講座」

① 内郷学講座 場 所 内郷公民館 3階会議室1

時 間 18時30分～20時 90分

日 程 令和4年1月27日（木）「大閉山50年の節目にあたり」

講師 NPO法人常磐炭田史研究会 野木和夫

2月7日（木）「吉野せい<涙をたらした神>を読み解く」

～内郷をどう描いているか～

講師 いわき地域学会 吉田隆治

② 内郷学特別講座

場 所 クレールコート（内郷支所二軒西隣）

日 時 令和4年2月27日（日）15時30分～18時30分 3時間

上映会 ドキュメンタリー映画「作兵衛さんと日本を掘る」（111分）

講演会 「(仮) 作品を撮り終えて」 熊谷博子監督

※1 内郷学講座は新型コロナウイルスの感染状況により、中止する事もあるそうです。

※2 内郷学の問い合わせは いわき市内郷支所 地域振興担当員（内郷学担当）

0246（21）2111 内線5711

\*\*\*\*\*

以上